

評 価 証

第 2 4 0 0 7 号

【技術の名称】

摩擦増大用アスファルトマット「KAM」

1. 依 頼 者

法人の名称 日本海上工事株式会社
住 所 東京都文京区後楽一丁目7番27号

2. 評価の前提

本技術の適用にあたっては、本報告書の留意事項の他、依頼者が推奨する方法で使
されるものとする。

3. 評価の範囲

本技術の評価の範囲は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発目標に対して、室内試
験等の結果により確認できる範囲とする。詳細は、港湾関連民間技術の確認審査・評価報
告書（第24007号）に示す。

4. 評価の結果

- (1) 摩擦増大用アスファルトマットとコンクリートの滑動抵抗係数（摩擦力成分と見掛けの付
着力成分を複合したものから求められる係数）が0.8以上であることが確認された。
- (2) 水質汚濁防止法排水基準に準じた溶出試験において、有害物質が溶出されないことが確
認された。
- (3) 50年暴露した供試体および57年経過した実構造物から採取した試料より、海洋環境下
における摩擦増大用アスファルトマットの滑動抵抗係数、曲げ強度および圧縮強度が材料の
劣化により低下しないことが確認された。

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価
に関する実施要領に基づき、上記の内容を確認した。

なお、評価証の有効期間は5年間とする。

平成22年4月16日 第09003号

令和2年3月31日 第2回目更新

令和7年3月31日 第24007号 部分変更

一般財団法人 沿岸技術研究センター
理 事 長 宮 崎 祥 一

